



平成 22 年 10 月 8 日

報道各位

第 1 回「クリエイターズ殿堂」決まる 杉山登志、堀井博次、三木鶏郎の 3 氏

社団法人 全日本シーエム放送連盟

社団法人 全日本シーエム放送連盟（略称：ACC、東京都港区、理事長：永田 圭司）は、設立 50 周年を記念して「クリエイターズ殿堂」を設立、第 1 回の「クリエイターズ殿堂」入りのクリエイターを杉山登志、堀井博次、三木鶏郎の 3 氏に決定しました（プロフィールと選考理由は別紙の通りです）。

ACC では CM 表現の向上に関する各事業の一環として、1983 年 7 月に「ACC パーマネントコレクション」（通称：CM 殿堂入り作品）を制定し、CM の歴史に残るすばらしい作品を殿堂入り作品として選考してきました。CM という作品が殿堂入りすると同時に、このような優れた CM を長年作り続けたクリエイターにも焦点を当てるべきとの考えから、本年、ACC 設立 50 周年を記念して、「クリエイターズ殿堂」を設立しました。

5 名（別記）の選考委員が選考会を開き、記念すべき第 1 回の「クリエイターズ殿堂」入りクリエイター 3 氏を選考、10 月 8 日の理事会で正式に決定しました。

3 氏への贈賞は 12 月 3 日に開催する ACC50 周年記念イベント「CM の力再発見 CM 展覧会」の席上で行う予定です。また、クリエイターズ殿堂入りしたクリエイターの作品は、誰でも、いつでも閲覧できるようにしたいと考えており、今後、その準備を進めていきます。

以上

この件に関するお問い合わせ先

（社）全日本シーエム放送連盟（ACC）

〒105-0004 東京都港区新橋3-1-11 長友ランディックビル5F

TEL : 03-3500-3261 FAX : 03-3500-3263

ホームページ <http://www.acc-cm.or.jp>

担当 : 梅津



【第1回クリエイターズ殿堂 プロフィールと選考理由】

杉山 登志 氏

＜選考理由＞テレビ創生期から数多くのテレビCMを制作し、日本のテレビCMをリードしてきた。また国内外の賞を数多く受賞。彼の存在によりCMの質は飛躍的に向上したと言われている。美しさだけではなく、人間の機微を描くストーリーテリングにも秀でており、他の追随を許さなかった。

＜プロフィール＞CMディレクター。1936年生まれ。本名は杉山登志雄（すぎやま としお）。1955年日本大学芸術学部美術学科に入学。1958年に、日本天然色映画株式会社に入社し、テレビ草創期から数多くのテレビCMを制作し、国内外の賞を数多く受賞。杉山グループ（杉山組）と呼ばれるスタッフ集団を結成し、その中から後のCM界を担う才能を多数輩出した。「資生堂ファッションペイル サイコロ（1963）」（第10回国際広告映画祭銀賞、第3回ACC賞会長賞）、「日産自動車フェアレディ2000（1967）」（第6回アジア広告会議グランプリ、第11回国際TVCMフェスティバル劇場部門銅賞）などACCでも受賞多数。

堀井 博次 氏

＜選考理由＞電通関西支社に所属し、「関西電気保安協会」「金鳥」などのユニークでインパクトの大きい作品を制作、特に「ハエハエカカカ」「チャップイチャップイ」「亭主元気で留守がいい」など、コトバのセンスが光るヒットCMを生み出した。また、数多くの「堀井組」といわれる俊才を輩出した。

＜プロフィール＞元電通関西支社 クリエーティブ・ディレクター。1937年京都生まれ。同志社大学卒業。松下電器（現・パナソニック）のCM制作を皮切りに、関西電気保安協会、金鳥など、ヒットCMを手がける。他に、三田工業、ミスタードーナツ、朝日新聞など話題作多数。ACC賞では、1995年に公共広告「震災支援・井戸水」で郵政大臣賞（グランプリ）、1991年に金鳥ゴン「自転車」で、1992年ダスキン・コールセンター「双子のおばあちゃん」でそれぞれ全日本スポットCM大賞を受賞するなど、1966年～1995年の間に94本（テレビ91本、ラジオ3本）を受賞している。

三木 鶏郎 氏

＜選考理由＞日本で初めてコマーシャルソングを作ったと言われ、CMの創生期を常にリードしてきた。数多くのCMソングを生み、多くの人たちに口ずさまれた。TVCMと人々をいち早く結びつけた功績は大きい。トリロー門下生には、いずみたく、永六輔など、テレビ文化を拓く、多くの才能も輩出した。

＜プロフィール＞作詞・作曲家。1914年東京生まれ。本名は繁田 裕司（しげた ひろし）。東京帝国大学法学部法律学科卒業。戦後、焼け跡の歌「南の風が消えちゃった」を作り、1946年、NHKラジオ『歌の新聞』に出演。1951年、民間放送開局にあわせ、日本初のコマーシャルソング「僕はアマチュアカメラマン」を発表。「ミツワ石鱈」「明るいナショナル」「キリンレモン」他数多のコマーシャルソングを送り出し、コマソン全盛時代を築いた。テレビ、ラジオ、舞台、映画など幅広く活躍。文部大臣賞奨励賞、民放賞、正力賞、芸術祭奨励賞、日本レコード大賞「特別企画賞」など受賞。

【第1回クリエイターズ殿堂 選考委員】

選考委員長 小田桐 昭（オグルヴィー・アンド・メイザー・ジャパン）

選考委員 杉山 恒太郎（電通） 宮崎 晋（博報堂）

坂田 耕（アサツー ディ・ケイ） 岡田 高治（太陽企画） 以上